

「審判請求書」作成見本
拒絶査定不服審判：意匠
代理人が弁理士の場合

【書類名】 審判請求書
（【提出日】 令和〇〇年〇〇月〇〇日）

【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇〇

【審判の種別】 拒絶査定不服審判事件

【審判請求人】

【識別番号】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【氏名又は名称】 意匠 太郎

【代理人】

【識別番号】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【弁理士】

【氏名又は名称】 意匠 一郎

（【電話番号】 １２３４－５６７８）

（【ファクシミリ番号】 １２３４－５６７９）

【選任した代理人】

【識別番号】 １９０００１２３５

【弁理士】

【氏名又は名称】 代理 二郎

【電話番号】 〇３－３５８１－１１０１

【連絡先】 担当

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 〇〇〇〇〇〇

【納付金額】 ５５０００

【請求の趣旨】 原査定を取り消す。本願の意匠は登録すべきものとする、との審決を求める。

【請求の理由】

１． 手続の経緯

・・・・・・・・・・・・・・・・

２． 拒絶査定 of 要点

.....

3. 本願意匠が登録されるべき理由

本願については.....理由により登録されるべきである。

4. むすび

.....

【証拠方法】 証拠として.....

【提出物件の目録】

【物件名】 委任状 1

【援用の表示】 特願0000-0000000に添付した
委任状を援用する。



他の事件の委任状を援用する場合の例

「審判請求書」作成見本
拒絶査定不服審判：意匠
代理人が弁理士法人の場合

【書類名】 審判請求書

（【提出日】 令和〇〇年〇〇月〇〇日）

【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇

【審判の種別】 拒絶査定不服審判事件

【審判請求人】

【識別番号】 〇〇〇〇〇〇〇〇

【氏名又は名称】 意匠 太郎

【代理人】

【識別番号】 190001234

【氏名又は名称】 弁理士法人 パテント国際特許事務所

【代表者】 代理 一郎

【電話番号】 03-3581-1101

【連絡先】 担当は弁理士 代理二郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 000000

【納付金額】 55000

【請求の趣旨】 原査定を取り消す。本願の意匠は登録すべきものとする、との審決を求める。

【請求の理由】

1. 手続の経緯

.....

2. 拒絶査定 of 要点

.....

3. 本願意匠が登録されるべき理由

本願については.....理由により登録されるべきである。

4. むすび

.....

【証拠方法】 証拠として.....

【提出物件の目録】

【物件名】

委任状 1

【援用の表示】

特願 0 0 0 0 - 0 0 0 0 0 0 に添付した
委任状を援用する。



他の事件の委任状を援用する場合の例